

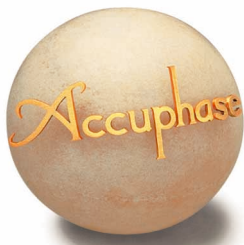
# Accuphase

CLASS-A MONOPHONIC POWER AMPLIFIER

## A-200

- 純A級動作、100W/8Ωのハイ・クオリティ・パワー
- 2台の完全同一回路のパワーアンプ・ユニットを並列駆動
- 出力段は「パワー・MOS FET」20パラレル・プッシュプル構成、1Ωの超低インピーダンスまでリニアなハイパワーを実現
- 入力部は、ダブル構成のインツルメンテーション・アンプ方式を導入
- 増幅部に「Double MCS+回路」と「カレント・フィードバック増幅回路」を搭載
- A-200を2台使用したブリッジ接続により、さらに出力の増強可能
- 高効率大型トroidal・トランスと大容量フィルター・コンデンサーによる強力電源部





『パワーMOS FET』搭載、超弩級の純A級モノフォニック・パワーアンプ——超低雑音インストルメンテーション・アンプのダブル構成により増幅部をフルバランス伝送化、さらに『Double MCS+回路』とカレント・フィードバック増幅回路を搭載して歴代最高のSN比と高音質を実現。強力電源部と『パワーMOS FET』20パラレル・プッシュプル構成で、1Ωの超低インピーダンス負荷時1,000W(音楽信号)を達成。出力回路を低インピーダンス化しダンピングファクター1,000を実現。

アキュフェーズは1972年に創立、翌1973年に創業第一作となるセパレート・アンプC-200/P-300を発売、以来真の高級オーディオ製品を創るという高い理想を掲げて、徹底したクオリティ重視の設計と高品位再生を目指しました。高度な技術に裏打ちされた付加価値の高い製品を製造し、その一つ一つが独創性が高い信頼性を保ち、歴史に残る数々の銘機を生み出し、国内はもとより海外のオーディオファイルからも高い評価と絶大な信頼をいただいております。A-200は今まで培ってきたパワーアンプのノウハウを集大成、飽くなき挑戦を続けた自信作で、次世代をリードする記念すべきモデルです。

本機は、理想的なスピーカー駆動を実現するため、M-6000の卓越した構造技術を導入、大型ヒートシンクを筐体の左右に配置、2台の完全同一回路のパワーアンプ・ユニットを並列動作させています。この完全並列動作により出力電流を大きくすることができ、極めて低出力インピーダンスのパワーアンプを実現、さらに最高グレードの素材や回路・パターン技術などを駆使することにより、《DF(ダンピング・ファクター): 1,000》以上となる驚異的な値を達成しました。純A級アンプは、常に電力を消費し、発熱が大きいので、どのような環境に対しても回路動作が安定でなければなりません。パワーMOS FETは高周波特性に優れ、温度変化に対して安定した特性を持つ素子で、温度上昇時の温度バランスを絶妙にコントロール、環境の変化に対して安定に動作させる事が可能です。

A-200が実現したもう一つの特徴はSN比の大幅な改善です。入力部に最新の『インストルメンテーション・アンプ(Instrumentation Amplifier)』を導入、これをダブル構成としてICを使わない完全ディスクリートで構成し後段との絶妙なゲイン配分と相俟って、『GAIN MAX』時:126dB、『GAIN -12dB』時:132dBの驚異的な高SN比の実現に成功しました。これはアキュフェーズのパワーアンプで歴代最高性能を誇ります。

■『パワーMOS FET』20パラレル・プッシュプルにより800W/1Ω(音楽信号)、400W/2Ω、200W/4Ω、100W/8Ωのリニア・パワーを実現。

■高効率大容量トroidal・トランスと100,000μF×2の大容量フィルタ・コンデンサーによる強力電源部を構成。

■パワーアンプ部アッセンブリーのプリント基板に、低誘電率・低損失の《ガラス布フッ素樹脂基材》を採用。

■デジタル(5桁の数字表示)とバウグラフ(40ポイントLED表示)の2方式を切り替えて表示。

- メーター回路のON/OFF可能。
- 真の電力値を表示するデジタル方式パワーメーター、ホール素子を用いて出力電流を検出。
- ピーク値のホールドタイム:『1秒、∞』の切り替え可能。

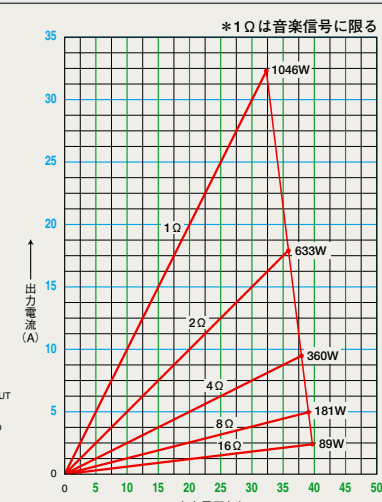
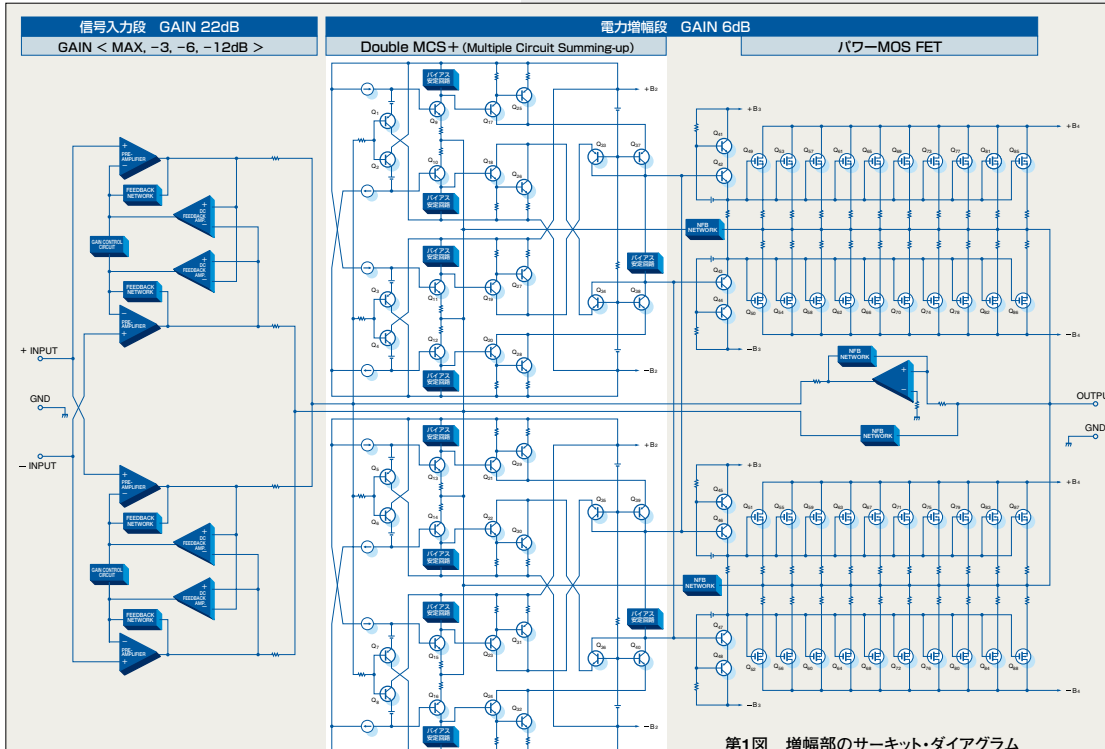
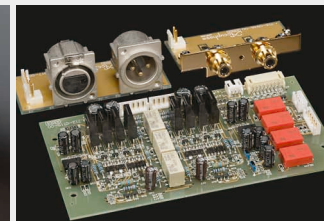
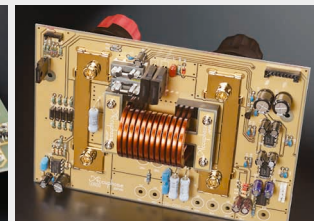
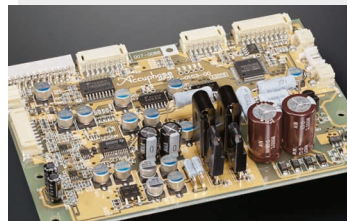
■残留ノイズも減少、4段階のゲインコントロール《MAX、-3dB、-6dB、-12dB》。

■『Yラック』や『バナナ・プラグ』が挿入可能な、大型スピーカー端子を2組装備し、バイワイヤリング接続にも対応。

■外来雑音を受けにくい完全バランス入力回路。

■モード切替スイッチでA-200を2台使用したバイアンプ接続やブリッジ接続が可能。ブリッジ接続により1,600W/2Ω(音楽信号)、800W/4Ω、400W/8Ωのモノフォニック・アンプにアップ・グレード。

■プロテクションに『半導体(MOS FET)スイッチ』を採用。接点不良がなく長期信頼性に優れ、また音楽信号が機械的の接点を通らないため一層の音質向上に寄与。



“伝統の



# 技と美”

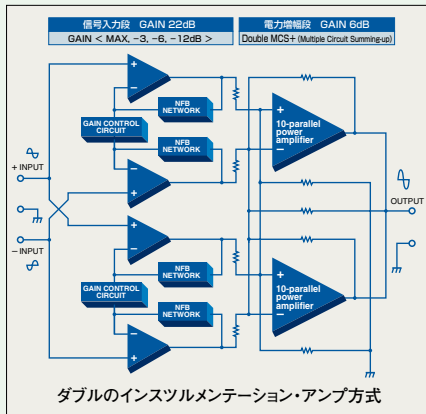


パワーアンプの最高位として、選び抜いた素材と最新回路など全てに贅を尽くしたA-200はゴールド調のパネルフェースと放熱効果の高い外装ヒートシンクで本体を強固に造り上げ、堂々たる質感と風格の中に精緻な美と優美で暖かい雰囲気醸し出しています。

# 最新のインストゥルメンテーション・アンプ構成とさらに進化した『Double MCS+回路』搭載

信号経路は、ダブル構成のインストゥルメンテーション・アンプ方式を導入してフルバランス伝送化

A-200は『インストゥルメンテーション・アンプ (Instrumentation Amplifier)』を導入、ダブル構成としました。この方式は入力端子からパワーアンプ段までの信号経路をフルバランス伝送化しています。このため、CMRR (Common Mode Rejection Ratio: 同相信号除去比) や低ひずみ率などの諸性能に優れているだけでなく、外部雑音など周囲の環境変化に非常に強く、最新の技術と完全ディスクリート回路によって、驚異的なSN比を実現。微少な信号も雑音に埋もれることなく、鮮明な表現が可能です。



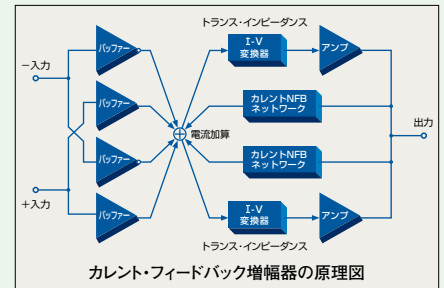
増幅部は、『Double MCS+回路』を搭載して、SN比を大幅に改善

増幅回路の入力部には、アキュフェーズ独自の『Double MCS+回路』を採用しました。回路内もカスコード・ドライブ回路などを多用し、各パーツの役割分担を明確にして安定した性能を引き出しています。このように、入力信号を増幅するユニットを4回路並列接続することで低雑音化を計り、SN比、ひずみ率など諸特性が大幅に向上、一段と優れた音質を実現しました。

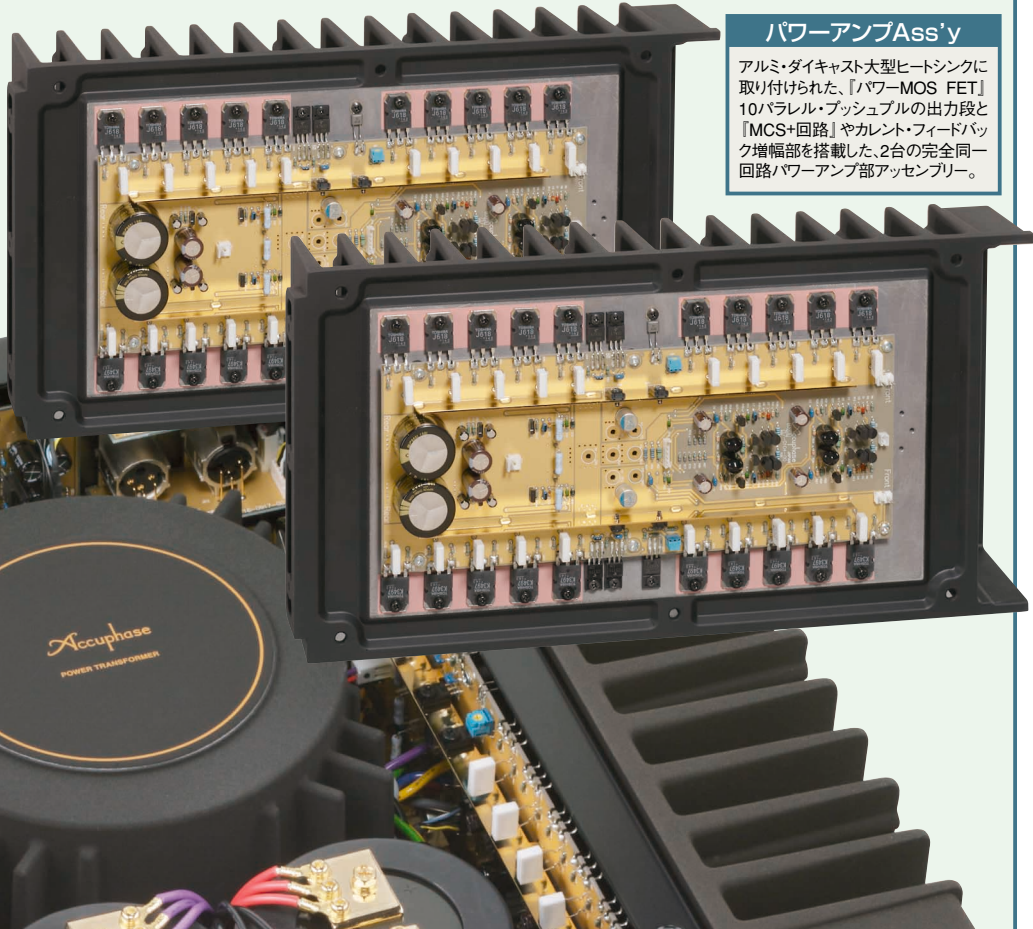


高域の位相特性に優れたカレント・フィードバック増幅回路

増幅方式は、図のような出力信号を電流の形で帰還する電流帰還型増幅回路を採用しました。帰還入力部分のインピーダンスが極めて低いので、位相回転が発生しにくく、少量のNFBで諸特性を大幅に改善できます。



カレント・フィードバック増幅器の原理図



## パワーアンプAss'y

アルミ・ダイキャスト大型ヒートシンクに取り付けられた、『パワー・MOS FET』10パラレル・プッシュプル出力段と『MCS+回路』やカレント・フィードバック増幅部を搭載した、2台の完全同一回路パワーアンプ部アッセンブリー。

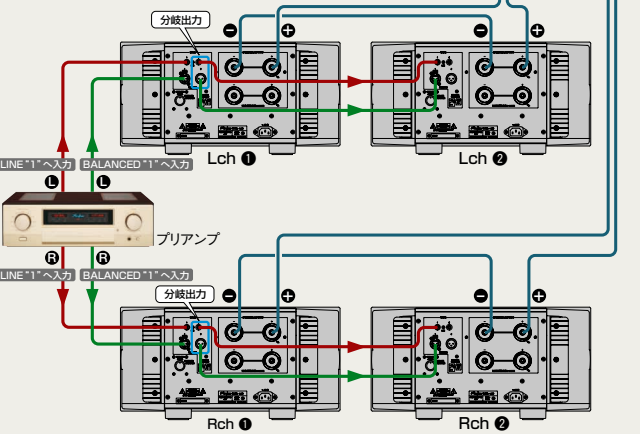


■A-200を4台使用して、ブリッジ接続やバイアンプ接続にアップ・グレードすることができます。■入力信号はライン/バランスどちらか一方で接続します。

### ブリッジ接続例

A-200を2台使用してブリッジ接続すると、さらに大出力のモノフォニック・アンプにアップ・グレードすることができます。

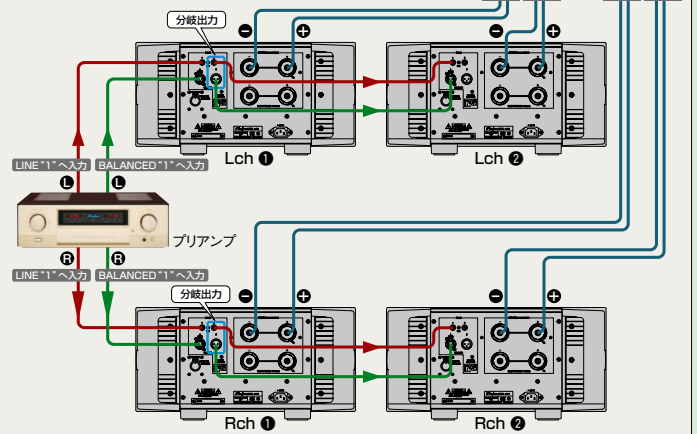
- \* スピーカー端子の●同士は、スピーカー・ケーブルと同質の線で接続。
- \* Lch/Rch用①のモード切替スイッチ：BRIDGE NOR.
- \* Lch/Rch用②のモード切替スイッチ：BRIDGE REV.



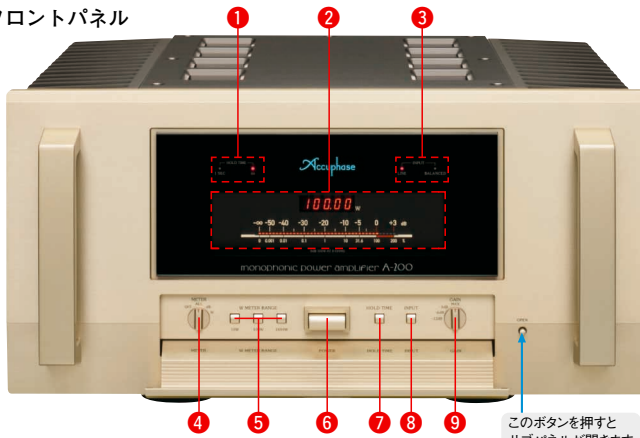
### バイアンプ接続例

バイアンプ方式は、LOW(低域)側とHIGH(中高域)側のスピーカー・ユニットを別々のアンプで駆動し、高音質の演奏を楽しむことができます。

- \* ネットワークを内蔵し、端子がLOW/HIGH分離可能なバイアンプ対応スピーカーが必要。
- \* モード切替スイッチ：4台ともNORMAL



### ■フロントパネル

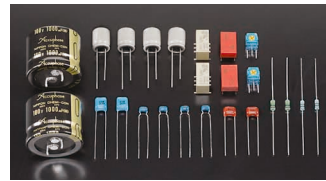


このボタンを押すとサブパネルが開きます

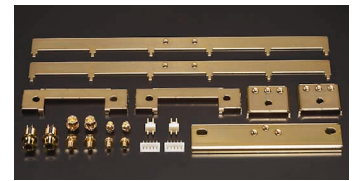
### ■リアパネル



- ① ホールド・タイム・インジケータ
- ② デジタル・パワーメーター  
バーグラフ・メーター
- ③ 入力端子インジケータ  
LINE / BALANCED
- ④ メータースイッチ  
OFF / ALL / dB / W
- ⑤ デジタル・パワーメーターレンジボタン  
10W / 100W / 1000W
- ⑥ 電源スイッチ
- ⑦ ホールド・タイム切替ボタン  
1 SEC / ∞
- ⑧ 入力切替ボタン LINE / BALANCED
- ⑨ ゲイン切替スイッチ  
MAX / -3dB / -6dB / -12dB
- ⑩ ライン入力端子  
(1系統はブリッジ接続時などの送り出しに使用)
- ⑪ スピーカー端子 (2組の端子は同一出力)
- ⑫ モード切替スイッチ  
NORMAL / BRIDGE NOR. / BRIDGE REV.
- ⑬ バランス入力端子  
(1系統はブリッジ接続時などの送り出しに使用)  
①グラウンド ②インバート(-) ③ノン・インバート(+)  
(但し、⑭位相切替ボタンで切り替え可能)
- ⑭ バランス入力端子の位相切替スイッチ
- ⑮ AC電源コネクタ



高音質・高信頼パーツ



信号経路の主要部品類を金プレート化

### A-200 保証特性

[保証特性はEIA測定法RS-490に準ずる]

- 定格連続平均出力 (20~20,000Hz間) 注意：(\*)印の負荷は、音楽信号に限る。  
ノーマル仕様時 800W/1Ω ※      ブリッジ接続 (2台) 1,600W/2Ω ※  
400W/2Ω      800W/4Ω  
200W/4Ω      400W/8Ω  
100W/8Ω
- 連続最大出力 (1kHz) 1,000W/1Ω ※  
630W/2Ω  
360W/4Ω  
180W/8Ω
- 全高調波ひずみ率      2Ω 負荷  
0.05%      4~16Ω 負荷  
0.03%
- IMひずみ率      0.01%
- 周波数特性      定格連続平均出力時：20~20,000Hz +0 -0.2dB  
1W出力時      0.5~160,000Hz +0 -3.0dB
- ゲイン (利得)      28.0dB (GAINスイッチ：MAX時)
- ゲイン切替      MAX、-3dB、-6dB、-12dB
- 負荷インピーダンス      連続出力仕様時 2~16Ω  
音楽信号時 1~16Ω
- ダンピング・ファクター      1,000
- 入力感度 (8Ω負荷)      1.13V 定格連続平均出力時  
0.11V 1W出力時
- 入力インピーダンス      ライン 20kΩ  
バランス 40kΩ
- S/N (A補正、入力ショート)      126dB GAINスイッチ MAX  
132dB GAINスイッチ -12dB  
定格連続平均出力時
- 出力メーター      デジタル・メーター 真のパワー (W) を5桁で表示  
レンジ切替 10W / 100W / 1,000W  
バーグラフ・メーター 出力の電圧値 (dB) を40ポイントで表示  
ホールド・タイム (ピーク時の表示保持時間)  
1秒 / ∞ 切替式  
\*表示消灯機能付き
- 電源      AC100V 50/60Hz
- 消費電力      300W 無入力時  
400W 電気用品安全法  
360W 8Ω負荷定格出力時
- 最大外形寸法      幅465mm×高さ238mm×奥行514mm
- 質量      46kg



### 安全に関するご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

- 密閉されたラック内や水、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しない。火災、感電、故障などの原因になることがあります。

付属品 ●アース線付2P AC電源コード (2m)



ACCUPHASE LABORATORY, INC.  
アキュフェーズ株式会社  
〒225-8508 横浜市青葉区新石川2-14-10  
TEL.045-901-2771(代) FAX.045-902-5052

### 5年間保証

本機の保証期間はご購入日から5年間です。保証書は本体付属の「お客様カード」をお送り頂き、登録後お届けします。

※本機の仕様・特性および外觀は、改善のため予告なく変更することがあります。 <http://www.accuphase.co.jp/>  
2012年6月作成 F1210Y PRINTED IN JAPAN 850-0175-00(B1)